

## 頂いたご意見と委員会の考え方

令和5年2月 山形村複合施設整備推進委員会

	頂いたご意見	委員会の考え方
1	図書館の現状と課題(施設8件、蔵書2件)は概ね同意します。これの解決には相応な面積が必要になると思われるが、複合施設の中でこれに重きを置いた対応をお願いしたい。	構想案第4章の整備方針にあるとおり、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を考慮し、課題解決に向け基本計画を策定していきたいと考えています。
2	図書館機能に、子どもの居場所、子どもの興味を育む本が十分にある、勉強場所になる、寺子屋機能を持たせるなど、図書館に重きを置いた施設となるよう期待する。	これまで以上に蔵書を充実させ、子どもの学びを育めるよう、基本計画を策定していきたいと思ひます。寺子屋機能については、やまがた未来塾や山形っ子タイム(おさらい教室)、子ども第3の居場所事業などを現在進めていますので、包括的に連携・融合しながら取り組んでいくのが望ましいと思ひれます。
3	現在「すくすく」が乳幼児の子育て支援センターを担っているが、その機能を複合施設に移転した場合、学童期の子どもの居場所まで設ける余裕はあるか心配。乳幼児と学童の遊びは大きく違うので、一緒だと危険が伴う。分けるほうが安全。	子育て支援センター「すくすく」で担っている機能の変更は予定していません。複合施設は登録や予約をせずとも、気軽に集まれる場所にしたいと考えています。施設内では一定のルールやマナーなどの約束事を子ども達と共に考える機会を設け、危険のない範囲で過ごせるような運用を考えていくとともに、施設や設備の設計にも十分配慮することが望ましいと思ひれます。
4	放課後児童預かりの登録がなく行き場を失っている児童たちの受け皿となることを期待しているが、子どもの活動が賑やかなので施設から放り出されないか。そこで現図書館の空きスペースを改装し、体を使って遊べるような場を設けたらどうか。	施設内に賑やかにしても構わない場と、静かに過ごせる場を、ある程度分けられるよう、基本計画策定作業の中で考えていきます。あわせて一定の約束事を設け、運用していくのが望ましいと思ひます。現図書館の後利用については、ご提案頂いた内容も考慮し、検討する必要があると考えます。
5	博物館は良質な資料がぎゅっとなつまっているのが良い。実物を博物館で見ても、図書館で調べ学習ができるよう、郷土資料コーナーも設けたらよい。	コンパクトな展示は構想案でも触れているとおりであり、郷土の理解につながるよう検討していきます。郷土資料コーナーは、図書館の基本的な設備として、現有のコーナーを更に充実・発展させる方向で検討したいと考えています。
6	施設と公園を芝生などでつないで一体化していると、流動的に使えて、子どもの利用についても大人の目があり安心感を感じられて良い。	大人の見守りは構想案でも触れているとおりであり、基本計画の中で検討していきたいと考えています。
7	屋外にはかまどベンチや防災パーゴラなどを設け、防災公園的に使えると良い。	自然災害などの危機管理対応への配慮は構想案でもうたっているところであり、設置に向け基本計画の中で検討していきたいと考えています。
8	駐輪場の設置をお願いしたい。現存の施設には少ない気がする。	必要なものだと考えます。基本計画策定作業の中で具体的に検討していきたいと思ひます。
9	出入口は複数、せめて2つはあると閉鎖的でなくなり入りやすい雰囲気になる。	防犯的な観点や、既存の公共施設との連携などを総合的に考慮しながら、基本計画策定作業の中で検討していきたいと思ひます。
10	箱物は必要ないと考えます。ネット公開という方法もあります。まずは箱もの以外で出来ることを実践(不定期な展示会)した上で、どの程度の見学者がいるか調査した結果で検討してほしい。	これまでも機会をとらえては、限られた状況のなかで図書館やミラ・フード館の一角などを使っての展示会を工夫・開催しており、相応の見学者があり評価をいただいています。画面や書籍では得られない、見て、感じて、体験する、実物ならではの学びを得る機会を創出していきたいと考えています。
11	優先度は、①子ども②図書館③宝物のはずです。	3つの機能はいずれも重要だと考えており、有機的に連携し、相乗効果が発揮される施設を目指しています。構想案の記載順については、これまでに検討・報告がされてきた順番、時系列に沿っています。
12	子ども服やおもちゃのリユースを何時でも扱ってもらえる場を設けてほしい。誰もが気軽に集える複合施設内にあれば子育て世代には助かると思ひます。	子育て支援センター「すくすく」などとの協働を念頭に、検討していくのが望ましいと思ひれます。

※ 「頂いたご意見」欄は、要点を抜粋したものです。